

日本での交換留学

パリ・シテ大学

エンリック＝デ＝カルバロ・メリサ

私の日本での交換留学の前半が終わろうとしており、決して楽なものではありませんでした。実際、最初はかなり複雑でした。私にとって、私が知っていることや慣れていることとは全く異なる国での生活に慣れるのは難しかったです。しかし、徐々に東京での生活に慣れていって、日本にいる良い面をすぐに見つけることができました。東京にいることは少し怖いとも思いました。なぜなら、それは非常に大きな都市だからです。人々があまり親切でないのではないかと、そしてあまり楽しめないのではないかと心配していました。しかし、興味深いことがたくさんあって、住民はとても親切です。たとえそれが大都市であっても。



大学のキャンパスはとても快適です。通りからよく隔てられているため、とても静かで、たくさんの木や植物があって、とても平和で美しい場所です。寮もとても快適です。部屋は適度な大きさと、内部には必要なものがすべて揃っています。さまざまなコンセプトルームも非常に便利で、作業室やキッチンなどがあります。寮のもう一つの大きな利点は、キャンパス内にあるため、授業に行くのにほんの数分しかかからないことです。これは非常にありがたいです。授業自体もとても楽しくて、よくできていました。私は日本語の授業とセミナーを受講しましたが、すべて日本語で

行われて、日本や日本文化についてもっと学んで、日本語のスキルを向上させることができました。さらに、フランスのカフェにも参加しました。このカフェでは新しい人々と出会って、フランスの好きなことを共有することができました。

授業の合間に、日本を発見することもできました。私は東京をたくさん移動しましたが、あまり外に出る機会はありませんでした。それでも、三重県の桑名市に数日間行くことができて、新年を迎えました。この街は東京とは非常に異なり、より静かで伝統的な日本を体験することができました。三重県には海と山もあって、美しい風景の多様性を提供してくれます。大都市から少し離れたときには、とても心地よいです。



最後に、いくつかの感謝の気持ちを伝えたいと思います。私を常に支えてくれたチューターに感謝したいです。問題があったときには、できる限り助けてくれました。また、音羽館のスタッフにも感謝したいです。彼らはいつも特に親切で、私をたくさん助けてくれました。国際課のスタッフにも感謝したいです。質問や問題があったとき、いつも助けてくれて、とても親切でした。これらの人々のおかげで、私の学期はさらに良いものになりました。